

12月3日～9日は

「障害者週間」です

「障害者週間」は、国民に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めることにも、障がい者が社会、経済、文化等あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間です。この機会にあわせて、障がい理解促進フェスティバル2011を開催します。このイベントに参加して障がい者の福祉について考えてみましょう。

障がい者福祉課 ☎(25)8516

障がいはとても身近な問題です

皆さんは障がいについて考えてみたことがありますか？ 日常生活の中で自分には関係ないと思っている方が多いのではないのでしょうか？ 平成23年の障害者白書では、国民の約6%が身体、知的、精神面において何らかの障がいがあると発表されています。障がいは、事故や病気などによって、年齢や性別に関係なく誰にでも起こる可能性があるものであり、とても身近な問題といえます。

それにもかかわらず、障がい者への理解が低いのは、自分は障がいとは関係ないと思いつつ、自分自身の問題としてとらえていないことによる大きな原因があります。

自分でできる配慮や工夫を考えよう

障がいの種類は多種多様で、外見では分からないものもあります。障がいによる不自由さはあっても、周囲の理解や配慮があれば、いろいろなことができることがあります。障がいのある方の意見を聞いて、日常生活や事業活動の中でできる配慮や工夫を一緒に考えてみましょう。だれもが暮らしやすい共生社会の実現は、そうした一歩から始まります。

12月11日(日) 開催!

③ づいたら ・ ④ しまてみよう ・ ⑤ きること

障がい理解促進フェスティバル2011

障がいのあるなしにかかわらず、みんな同じ高島市民として楽しみながら交流できる場づくりを目指し、障がい理解促進フェスティバル2011を開催します。いろいろな出会いや新しい発見を通して、自分なりにできることを発見してみませんか。

今津東コミュニティセンター 会場

楽しむ

《体験交流コーナー》

みんなで楽しめるコーナーとして、さまざまな体験や遊びをご用意しています。障がいがあってもなくても、親も子どもも楽しめます。

- **ドリーム親子マドレーヌ手作り体験**
▼時間 10時30分～12時 ※先着12組
- **親子でからだを動かそう**
親子リズムサークル「ルンルン」
▼時間 10時30分～11時30分
- **遊んでみよう！ 作ってみよう！ 体験コーナー**
▼時間 10時～13時30分
▼内容 マジックショー、木工体験、ミサンガづくり、竹紙づくり体験

知る

《福祉施設事業所紹介展示コーナー》

▼時間 10時～13時30分

食べる

《模擬店コーナー》(駐車場)

イベントの趣旨に賛同いただいた団体等によるさまざまな模擬店が出店！
▼時間 11時～14時30分

高島市民会館 会場

《KOSE I 輝く芸術祭2011》

障がい者の皆さんの芸術活動を応援する芸術祭を開催します！

- 《発表の部》ステージ発表
▼時間 10時～12時
▼内容 合唱、合奏、手話歌 等
▼出演 障がい者の方々、きらきらクラブ
- 《展示の部》
▼時間 10時～16時
▼内容 障がい者の方々の作品展示
☎ KOSE I 輝く芸術祭運営委員会事務局 (藤の樹) ☎(28)1855

響く

感じる

《ふれあいハートフルコンサート ～心癒されるピアノとお話し～》

視力を失って行く中“音楽家になる夢”を目指して学び続け、現在は作曲家・音楽家として活動されている前川裕美さんによる心あたたまるコンサートを開催します。



▼時間 14時～15時30分
★入場無料

☎ みんなでいこう！プロジェクト事務局 ☎(36)8220 (高島市社会福祉協議会) もしくは ☎(25)8276 (わになろう)

市や県では難病患者をサポートしています

難病とは、「原因不明、治療方針未確定で、かつ後遺症を残す恐れが少なくない疾病」、または「経過が慢性にわたり、単に経済的な問題のみならず介護等に著しく人手を要するために家族の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾病」のことをいいます。

高島市の取り組み

ホームヘルパーの派遣

難病患者等が自宅で、日常生活を営むことができるよう家庭にホームヘルパーを派遣し、入浴等の介護や掃除などの家事サービスを提供し、難病患者等の福祉の増進を図っています。

日常生活用具の給付

難病患者等に、日常生活用具を給付して難病患者等の日常生活を支えています。

- 給付用具**
車いす、特殊寝台・入浴補助用具・歩行支援用具、動脈血中酸素飽和度測定器(パルスオキシメーター)等

☎ 障害福祉課 ☎(25)8516

滋賀県の取り組み

意思伝達装置の貸出

在宅で療養する難病の方とご家族が、意思伝達装置の機器について、購入前の使用や練習を目的としてお使いいただける機器を貸し出しています。将来、機器を使用するかもしれないので一度使ってみたいという方など、お気軽にご利用ください。

治療費の負担

特定疾患治療研究事業

診断基準が一応確立し、治療法が確立していない難病のうち国が定めた疾患について、その治療にかかった費用(医療費から医療保険を除いた自己負担分)を公費により負担する制度です。国が定めた56疾患が対象です。申請については、主治医にご相談ください。

難病の方の交流の場

笑竹梅の会

主に神経難病の方やそのご家族の方が身近な場で交流しながら、年6回程度、栄養などの勉強をしたり、お食事したり、しようぶ園やゆり園の散策をしています。みんな同じ立場なので、普段は話せない難病のことが話せると言われる方もおられます。

☎ 滋賀県高島健康福祉事務所 ☎(22)2419

滋賀県難病相談・支援センターの取り組み

難病ピアカウンセリング
同じ難病という立場にあるピアカウンセラーが個別にお話をお伺いします。日頃の悩みや相談事を話し合いませんか？

対象疾患
パーキンソン病などの神経系疾患
膠原病などの免疫系疾患
網膜色素変性症などの視覚系疾患
潰瘍性大腸炎などの消化器系疾患

☎ 滋賀県難病相談・支援センター ☎077(526)0171